

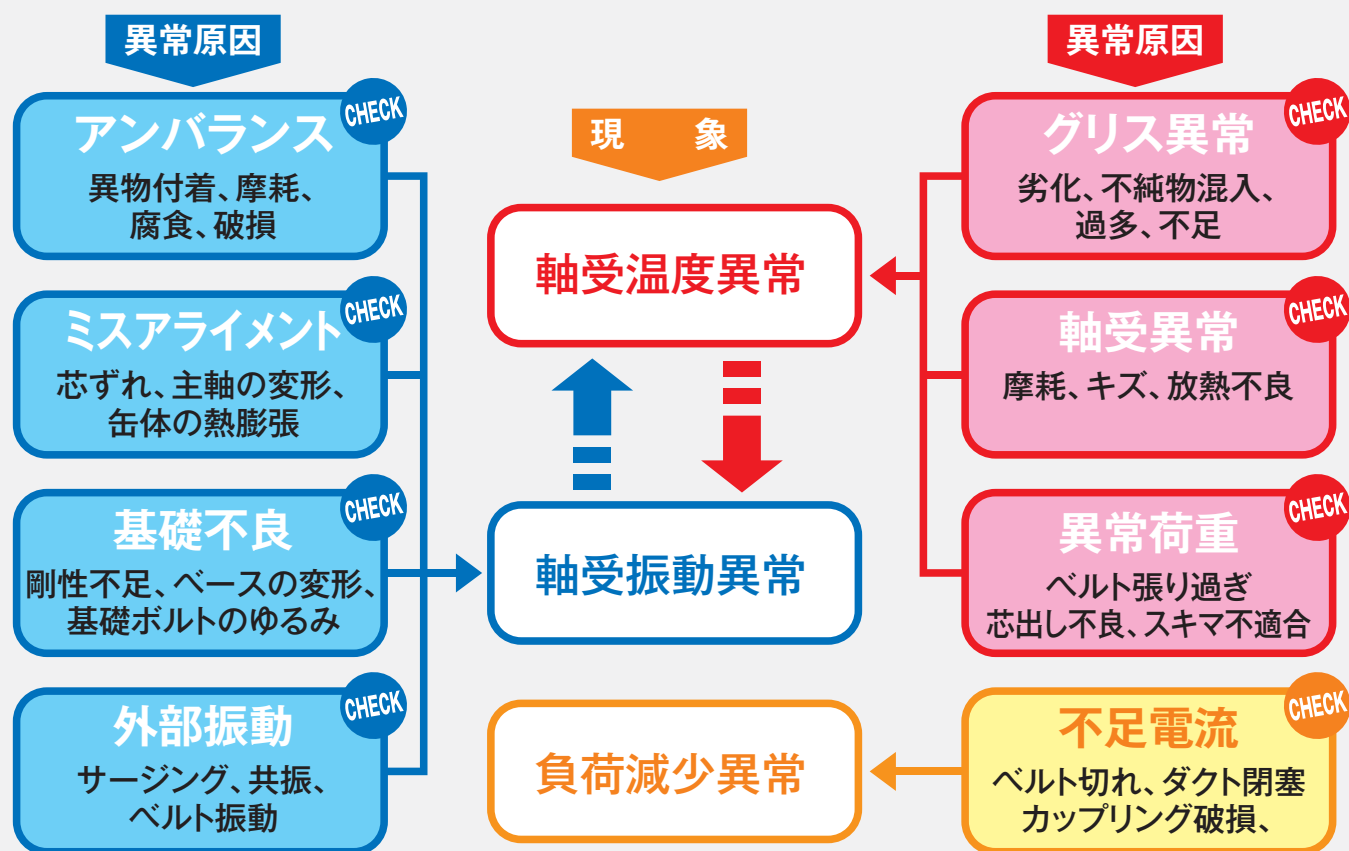
送風機のメンテナンスって？

その風力、急になくなったらどうなりますか？

●送風機的主要故障(点検)箇所

- ①本体の異常振動 ②軸受グリースの劣化
- ③Vベルトの緩みや切断 ④過負荷や寿命による軸受の破損

●送風機の異常現象・原因と点検項目



送風機の故障は生産工程に大きなダメージを与えます。定期的に点検し、故障を未然に防ぐことが大切です。

●代理店

送風機のメンテナンスについて

送風機を長期間安全に安心してご使用いただくためには、以下のような点検および部品の交換等のメンテナンスを適切に行い、故障の防止を図ることが必要です。

1. 点検の種類と目的

点検は、その目的に応じて以下のように区分されます。

取扱説明書等にもとづき、それぞれの目的と仕様に応じた点検が必要です。

これらの記録は、送風機の運転状態の推移や不具合発生時の原因追及に重要な資料となります。

① 試運転時の点検（設置時）

試運転時に配管、据付け、送風機の輸送時等による不具合がないことを確認します。

② 日常点検（毎日～1ヶ月）

送風機の異常は、ほとんどが異常な音響・振動・温度上昇として表れます。

これらを日々点検・確認することで、早期に異常が発見できるとともに、経時劣化も把握できます。

③ 定期点検（3ヶ月～半年）

試運転段階で異常がなければ、送風機は順調な運転状態であると考えられます。

以降は使用条件等に応じて、3ヶ月～半年に1回程度の目安で点検を行います。

点検箇所	点検項目	点検方法	点検種類	不具合時の処置
軸 受	温度	温度計、手触	日常	原因調査 → 必要な処置
	振動	振動計、手触	日常	
	運転音	聴覚	日常	
電動機	電流	電流計	日常	原因調査 → 必要な処置
	温度	温度計、手触	日常	
	振動	振動計、手触	日常	
	運転音	聴覚	日常	
	絶縁	メガー（絶縁計）	定期	
ケーシング	運転音	聴覚	日常	原因調査 → 必要な処置
	腐食・付着物・摩耗	目視	定期	清掃、原因調査→補修、交換
羽根車	腐食・付着物・摩耗	目視	定期	清掃、原因調査→補修、交換
	母材、溶接部の割れ	目視、カラーチェック	定期	原因調査→補修、交換
軸	腐食・付着物・摩耗	目視	定期	清掃、原因調査→補修、交換
プーリ	溝部の摩耗	目視	定期	交換
	芯の狂い	芯出し器、水系	定期	芯出し調整
Vベルト	張り	テンションメータ	定期	張り調整
	摩耗	目視	定期	交換
基礎ボルト 各取付ボルト類	取付部のゆるみ	手触、ハンマリング	定期	増し締め
	腐食	目視	定期	補修、交換

計器により計測した数値を記録しておくで運転状態の経緯や劣化がわかり易くなります。

2. メンテナンスの概要

① 定期的な保守

安定した運転を維持するため、定期点検と合せて、仕様に応じた定期的な保守が必要です。

給油式軸受では指定の給油が、Vベルト駆動の送風機では定期的な張り調整が必要です。

特にVベルトは初期に伸びが発生しますので、交換後の1～2週間は注意が必要です。

② 寿命、経時劣化に対する保守

Vベルトや軸受は消耗品であり、寿命や劣化の状態により交換が必要です。

期間を定めて定期保守を行うか、定期点検等から劣化を考慮して交換を計画することが必要です。

これらは目安として、吸込み温度、腐食性ガスの吸込み、送風機周りの環境等により大きく変わります。



昭和数据機株式会社

<http://www.showadenki.co.jp>